



あじさいネット OFFLINE 通信



大又農園のコスモス畑（大村市）

目次

特集1
周産期医療支援システム 2～3
「すくすく」とは？

特集2
iPadで もっとひろがる 4～5
あじさいネット

会員様の声

- 山下外科医院 山下 直宏 先生 6
- 野田消化器クリニック 野田 剛稔 先生 7
- 天本愛命堂調剤薬局 天本 耕一郎 先生 8

情報提供病院のご紹介

- 嬉野医療センター 地域医療連携室 9

現在の運用状況

- 患者登録数：48,240名
（あじさいネット説明同意書 取得済）
 - 会員数：546名
 - 情報閲覧施設数：248施設
（内、薬局数：44）
 - 情報提供病院数：30施設
- （平成27年9月15日現在）

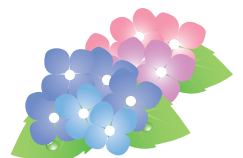
賛助会員

- (株) ホギメディカル福岡営業所
- 日本電気(株) 医療ソリューション事業部
- (株) L S I メディエンス
- 富士通(株) 長崎支店
- (株) NTTデータ 公共システム事業本部
- オフィスメーション(株)

基本理念

地域に発生する診療情報を患者さまの同意のもと、複数の医療機関で共有することによって各施設における検査、診断、治療内容、説明内容を正確に理解し、診療に反映させることで安全で高品質な医療を提供し、地域医療の質の向上を目指すものです。

NPO法人 長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会



「すくすく」とは？

2014年7月よりスタートした周産期医療支援システムは運用開始後1年が経過し、2015年9月現在で妊婦さん登録数は2200名を超え、参加施設数も増えております。

本システムを利用しての周産期センターへの紹介や、クリニック間紹介も順調に稼働し、ますます便利になっていますが、今回はすくすく(周産期医療支援システム)の特徴でもある、妊婦さんによるiPadを使った基本情報登録を紹介いたします。
※詳しくは昨年10月発行の広報誌Vol.12をご覧ください。(あじさいネットホームページ<http://www.ajisai-net.org/>でも広報誌バックナンバーがご覧になれます)

妊婦さん初診来院時の流れ

3



入力が終わったらiPadを返してもらい、受付で登録ボタンを押します。この時、同意書は自動的に印刷されますので、妊婦さんにサインをもらって、サイン済み同意書を写真撮影システムに登録します。

※登録された同意書は、あじさいネット 拡充プロジェクト室にて入力の間違いやサインもれのチェックを行います。

看護師さんのコメント

以前は手書同意書だったのでひと手間あったのですが、今はずいぶん早くなりました。

1



初診来院時に周産期システムの説明を行い、同意を取得します。受付にてiPadのすくすく予診表の画面を表示して、妊婦さんに渡します。

2



看護師さんのコメント

最近の若い妊婦さんは、さくさく入力しています。

iPadで妊婦さん本人に、名前や住所などの基本情報を入力してもらいます。

～お使いいただいている先生のご意見～



院長 淵 利雄 測レディスクリニック

当院では「すくすく」と電子カルテを併用しているので、其々に入力が必要で正直手間がかかっています。現時点では、すくすくの有効性をそれほど感じていないけれど、それでも当院がすくすくに参加しているのは、長崎県下の妊婦さんデータが(GDMや早産や何週で生まれたかというのが)集計されるのはとても意義がある事だからであり、そういうデータはものすごく大事だからです。



院長 小尾重厚 おび産婦人科医院

日常の診療で使っています。すくすくに登録されたデータは広島県にあるNTTデータのデータセンターに保存されます。妊婦のデータを登録しておくことによって、周産期センターへの紹介時は詳細な経過記録を即座に送れますし、災害時にも役立ちます。今年の4月からはクリニック間紹介が可能となり、県内で妊婦が転院するときなどにも簡便迅速に紹介ができます。当院では、すくすくのおかげで周産期センター紹介時、紹介状を準備する手間がずいぶん減りました。



院長 山崎健太郎
山崎産婦人科医院

「すくすく」育て！

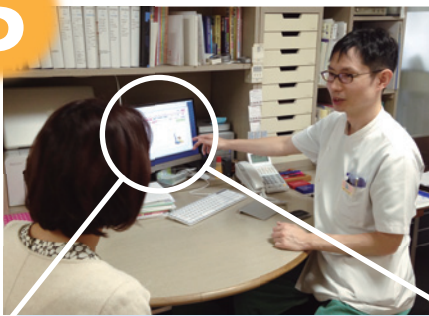
もともと当院では、父が開発したOBSTELANという妊婦健診を補助するソフトを使用していました。これは、その当時には珍しく、妊婦さんに現在の妊娠の状態や、新生児の発育状態を分かりやすく伝えることに重点が置かれていました。また医療者側にも健診データの分析や紹介状の作成など、日常の産科診療の補助をしてくれる、大変優れたシステムです。

しかし、電子化したデータを将来的に電子母子手帳などへ有効活用していくためには、個人のシステム開発では限界がありました。そこで登場したのが「すくすく」です。はつきりいって現在の「すくすく」は、まだOBSTELANの使い勝手の足元にも及びませんが、その設計の思想には、長崎県の周産期環境を変えていく発展性が秘められていると感じています。

ぜひ参加施設を増やして、いろいろな方に改善点を挙げてもらい、どんどん使いやすく育てて欲しいと思います。

すくすく診療の流れ

5

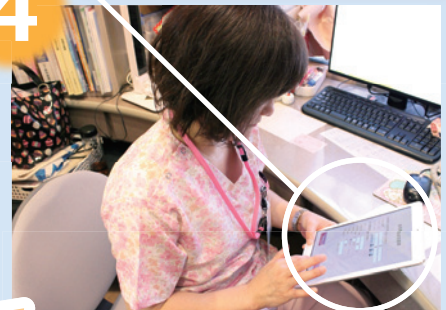


妊婦さんの健康状態や胎児の状態を簡単にグラフ化できますので、すくすく画面を見ながら妊婦さんへ説明が出来ます。



iPad画面

4



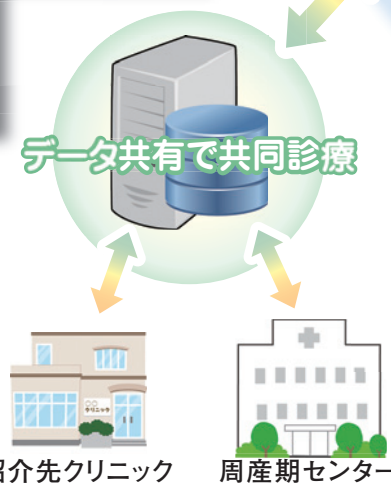
周産期システムはiPadで入力する事を前提に入力画面が設計されています。このため入力項目も選択やチェックを多くして、極力指1本で操作できるようになっています。タブレットの機動性を活かし、診察室、検診室どこでも持ち運んで診療に使えます。

6



長崎県の安全な出産と
健全な小児発育の支援

データ共有で共同診療



看護師さんのコメント

今はiPadが1台しかないので入力のタイミングが難しいです。このため、診察後にまとめて入力しています。

あじさいネットではすくすく使用の為の **システム利用料金は発生しません!**

※ あじさいネットへの入会や利用料金は、あじさいネット事務局へお問い合わせください(裏表紙参照)。また iPad 利用料金については次頁：特集2をご覧ください。

iPadで もっとひろがる あじさいネット

2015年8月より一般会員の皆様にも、iPadであじさいネットがご利用いただけるようになりました。場所を選ばずに情報を共有できることで、医療の可能性がますます広がります。

● ケース1 ●
患者宅で診療情報共有

― 在宅医療 ―



iPadの利用が有効なのが、在宅医療のケースです。患者宅で拠点病院の検査結果や在宅チームの記録を見るのももちろん、その場で簡単な訪問記録を書くことでチーム全員に通知メールが自動配信され、すぐに情報が伝わります。

またiPadのカメラで皮膚所見などの患部を撮影すると次の訪問者も撮影してくれるので、その治療経過も判ります。さらにこのカメラで処方箋や報告書などを撮影することで、入力する手間を減らすことができます。

複数の医療機関や事業所がかかわる在宅医療において、きめ細やかで適切な医療やケアの提供をiPadが可能にしています。

● ケース2 ●
妊婦自身が基本情報を登録

― 周産期医療支援システム ―



周産期医療支援システムは、iPadの使用を前提とした機能が盛り込まれています。妊婦さんにiPadで住所や氏名などの基本情報を入力してもらうことで初期登録と同意書発行を同時に行い、発行された同意書は署名後にiPadで撮影してそのままシステムに登録できます。

妊婦検診記録も、診察前に看護師や助産師がiPadで入力してくれているので、医師が入力等にかける時間と手間を極力抑えることができます。もちろん、妊婦さんに内容説明する際にもiPadを使えば、場所を選ばず結果や経過記録を見せながらの説明ができます。

● ケース3 ●
通常の端末が使えない時

― 別室での説明や外出先で ―



患者さんに予後や病状説明を別室で行いたい場合や、入院患者のベッドサイドでの説明などは、iPadがあれば簡単です。

これは主に情報提供病院での運用になりますが、今後は電子カルテを導入している診療所でも同様の運用が可能です。重要な記録や結果をあじさいネットへ自動記録する機能を電子カルテに追加するメーカーも出てきており、すでにいくつかの診療所で運用が始まっているのです。

また、出張や休日などで診察室を離れている時に緊急の問合せ等があっても、その場で診療情報を確認しながら対応することができます。

● ケース4 ●
どこからでも会議に参加

― TV会議システム ―



あじさいネットのTV会議の利用は広がりがつづありますが、これにはiPadからの参加も可能です。

これを使えば学会等で出張する時や、休日で診察室の端末を操作できない場所（自宅等）にいる時でも、あじさいネットのTV会議システムを使って行われる会議・カンファランスに参加したり、許可されているケースでは講演等の視聴ができます。（今後視聴できるケースを増やしていく予定です。）

iPadであじさいネットを利用するには



現在パソコンであじさいネットを利用されている会員様にご利用になれます。
ご利用にあたっての手続きの流れや料金、ご注意いただきたいことなどをお知らせします。

利用申し込み

利用申請書に必要事項を記入し、あじさいネット事務局へ提出します。（申請書はホームページからダウンロードできます）事務局で受理しましたら、ご連絡いたします。

iPadをあじさいネット事務局に送付

申請書が受理されましたら、iPadを事務局へ郵送またはご持参下さい。（送料は会員様のご負担となります）

- ※ パスコード（最初のロック画面）は設定を解除しておいてください。ロックされたままだとあじさいネットのための設定ができません。
- ※ 大切なデータはお預けの前に必ずバックアップを取って下さい。

セットアップ作業

あじさいネット拡充プロジェクト室にて、必要なアプリのインストールや設定の作業を行います。（数日かかります。）

iPadのご返却

セットアップ完了後、あじさいネット事務局より宅配便にてiPadをご返却いたします。（料金着払いとなります）ご利用マニュアルも同梱いたします。

ご利用開始

マニュアルに従ってあじさいネットに接続し、ご利用を開始します。



- ● ● **利用できる方** ● ● ●
- あじさいネットに接続できるVPN機器（OnDemandアダプター）を施設に設置済みで、現在パソコンであじさいネットを利用されている会員様。
- ※ iPadのみではご利用になれません。
- ● ● **ご利用料金** ● ● ●
- 通常のあじさいネット会費とは別に利用料がかかります。
- 料金はiPad一台あたり、月額700円（税別）です。

- ● ● **セットアップとは？** ● ● ●
- iPadであじさいネットに接続するためには、接続アプリ「Any Connect VPN」をインストールし、電子証明書をを入れる必要があります。
- また、紛失・盗難等の際は、あじさいネットに接続できないように端末設定情報を削除することができる「MDM機能」が付加されます。
- これらの設定作業のため、ご使用になるiPadを一度、事務局でお預かりいたします。

2015年8月スタート!
iPadでのあじさいネット利用
くわしく見る ▶

- ● ● **ホームページから** ● ● ●
- iPadでのご利用は、あじさいネットのホームページをご覧ください。トップページのバナーから案内ページに入れます。
- そこで申請書をダウンロードできますので、必要事項を記入していただき、あじさいネット事務局にご提出ください。

故障・紛失・盗難等が発生した場合

iPadの故障・紛失・盗難は、個人情報の流出を招く恐れがあります。そのような場合は、あじさいネットへの接続を停止させる措置を取りますので、すみやかに下記ヘルプデスクへご連絡下さい。



NTTデータ中国 ヘルプデスク (24時間対応します)

TEL. 082-505-4566





地域医療の中で、あじさいネットは人と人をつなぐツールとして活躍

●● 基幹病院での診察内容もあじさいネットでしっかり把握 ●●

当院では地域連携パスを利用されている患者さんにあじさいネットに登録し、情報を得ながら診療に役立てています。半年から一年に一度、基幹病院を受診される際には「私も一緒に見ておきます」とお声掛けして送り出します。あじさいネットを利用すれば、撮影された画像や検査結果、診察の状況がその日に確認できるので大変便利です。患者さん自身に説明していただくのは難しい基幹病院での診察内容でも正確に詳細が把握できます。

大村市では、基幹病院の先生方と我々開業医の間に顔が見える関係が構築できている、このようなパスを使ったあじさいネットでの情報共有も大変スムーズに利用できています。患者さんも基幹病院と診療所の二人の先生に診てもらえていることに安心感を持っていただけているものと思います。



PROFILE

昭和 55 年 長崎大学医学部卒
平成 16 年 あじさいネット入会
◆山下外科医院 院長

大村市西三城町
山下外科医院

やました なおひろ
山下 直宏 先生

TEL. 0957-54-7122 E-mail: yclinic@orange.ocn.ne.jp

●● 地域完結型医療には一元化された情報が必要 ●●

まだ準備の段階ですが、平成二十八年四月に「在宅医療サポートセンター」を大村市医師会が立ち上げる予定です。「退院支援・調整」、「日常の療養生活の支援」、「急変時の対応」、「在宅での看取り」の四つのステージに合わせて在宅患者さんを支援していきます。

急変時の対応としては「二十四時間対応コールセンター」を設置し、在宅患者さんの一元化されたデータを在宅主治医、訪問看護師、基幹病院の地域連携室のスタッフや主治医がすぐに閲覧できるシステムにしようと考えています。これに不可欠なのがあじさいネットです。連絡を受けた医師は、患者さんの病歴や投薬の状態を確認した上で診察ができますし、重症で基幹病院に搬送された場合も同様に患者さんの情報をすぐに得られるのです。

今後、地域完結型医療へと変わっていくば、在宅医療に関わるあらゆる職種が持っている患者情報を集約した「地域の中のカルテ」が必要となります。在宅患者さんが増えれば主治医が一人で診ていくのは難しいでしょうが、安心して生活を送っていたためにネットワークを使って情報を共有し、地域の皆で診ていければと考えています。個人情報の問題など解決しなければいけないことはありますが、あじさいネットには大変期待しています。

在宅主治医と訪問看護師のあじさいネットを利用した連携はすでに上手く機能していると思います。電話やFAXでは不便だった点もiPadを用いることで情報



受付のカウンター上では三匹のカメが迎えてくれます。手前は皆に幸福を授けたいと願っているロシアリクガメの福ちゃん。完全なベジタリアンでレタスやべんべん草が好物だそうです。ゆったりとした動きに癒されます。

共有が簡便にできています。iPad自体に情報が保管されているわけではなくアクセスして情報を閲覧するので、医師は出張中であっても指示が出せますし、訪問看護師は自宅に持ち帰れば当直の負担を減らすことができます。あじさいネットがあるからこそこういった使い方ができるのですが、まだ十分知られていないようです。患者さんにも医療従事者にも大きなメリットがあり、今後、地域完結型医療の柱になるかと思っておりますので、あじさいネットを更に広めて多くの方に利用していただきたいです。

●● 簡単、手軽に燻製作り ●●

最近始めたことですが、休日は燻製を作っています。火加減や、どの程度で鍋から外すのかが分かってくれば意外と簡単にでき、良い気分転換にもなっています。

これまでに玉子、チーズ、ササミ、タコなどを試してみたところ、大変美味しく仕上がりました。家内にも褒めてもらい、一緒にワインを飲む時のつまみにしています。艶出しのためにザラメをチップに混ぜたり、食材にオリブオイルを塗ってみたりとあれこれ挑戦中です。



長崎全域へと広がり続けるあじさいネットに期待！



PROFILE

昭和44年 長崎大学医学部卒
平成21年 あじさいネット入会
◆野田消化器クリニック 院長

●●あじさいネットを
●●県内統一規格のネットワークへ●●

今から十年程前になりますが、私が長崎市医師会の役員をしていた時に、長崎市にも医療のITネットワークを作ろうという話が持ち上がりました。当時、長崎県内ではいくつかのネットワークがそれぞれの地域で利用されており、長崎市内の基幹病院も電子カルテを導入して独自のネットワークを開始しようとしていた頃です。協議会を開いてどういったものがいいか検討し、最終的に選んだのが「あじさいネット」でした。

大崎市を中心にして始まったあじさいネットは、関係する企業やセキュリティ対策がしっかりしており、様々な面で優れています。長崎市が参加し、県内統一規格のネットワークとして発展させていこうと、あじさいネットの理事の方にも協力していただきながら、基幹病院の開設者や地域連携室などの実務担当者に向けた説明会を繰り返し行いました。

長崎市浜町の 野田消化器クリニック 野田 剛稔 先生

TEL. 095-826-9252

その後長崎市の医師会の会員にも説明を行いアンケートを取ったところ、参加していただけの回答が多数ありましたし、情報提供病院となる基幹病院からも数多くの良い返事をもらうことができました。

長崎市の医師会があじさいネットに入ったのは平成二十一年です。協議会を立ち上げて四年近く経ってからのことでした。それから個人の入会へと続き、私も会員となって日々の診療に役立てています。

当時、あじさいネットを押し進めようと担当理事を中心に必至で説得して回ったことを懐かしく思います。長崎市では、最初三つの基幹病院の参入から始まりました。閲覧する診療所数、患者登録数も徐々に増え続け、多くの方に活用されているのは非常に嬉しいことです。あじさいネットは今では長崎・大崎市だけでなく県内全域へと広がっており、今後の更なる発展に期待しています。

●●あじさいネットで
●●最前線の診療情報を得て学習できる●●

あじさいネットでは、同意書を提出すれば十五分以内で電子カルテの閲覧が可能となり、基幹病院に紹介した患者さんの入院から退院までの流れをしっかりと把握できます。

利用する上で一番のメリットだと思えるのは、救急患者さんを搬送した場合にどのような診断や治療をされたのかの詳細に分かる点です。我々開業医としては、あじさいネットで得られる基幹病院の診療情報は日常の診療の中で最前線だと捉えており、学習するのに大変役



実りを味わう



秋に種まきをして、冬の寒さに耐えられるか心配だったそうですが、初めて栽培に挑戦したエンドウ豆は色艶もよく、見事な出来栄え！湯通しやお煮しめにして、お酒のつまみにもぴったりだったようです。

立っています。

●●たどり来て、未だ山麓●●

将棋史上初となる「名人・王将・九段」の三冠制覇を成し遂げた際に、感想を聞かれて升田幸三氏が言った、「たどり来て、未だ山麓」という言葉が好きです。

開業して三十年が経ち、昭和十九年生まれの私も年齢的にはそろそろ最終段階に入っていますが、何事もまだまだだという気持ちでいたいと思っています。

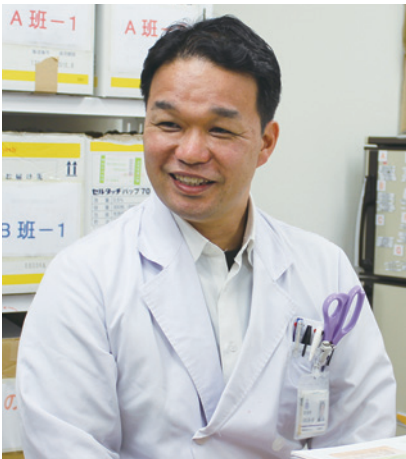
●●我が家の菜園●●

自宅の庭にプランターを並べて様々な野菜を作っています。ちよつとしたスペースでもよく育ち、これまでに、トマト、キュウリ、ゴーヤ、ナス、ママなどを収穫しました。実用を兼ねた趣味として楽しんでいます。

庭の片隅には柚子の木があり、十数年かかって実をつけるようになりました。裏年があつて収穫できるのは一年おきぐらいですが、小さな木ながらも五十個から六十個近く実がなります。



あじさいネットで知り得た情報を活かし、より良い医療提供に繋げる



PROFILE

平成 8 年 北里大学薬学部卒
平成 25 年 あじさいネット入会
◆天本愛命堂調剤薬局 管理薬剤師

●●入手した情報は
しっかりと有効活用する●●

通常、薬局で分かるのは処方箋に記載された薬名のみですが、あじさいネットを使ってカルテやレジメンを見れば、詳しい病状、医師がどのような治療方針を持たれているのかといったことまで知ることができます。血液検査の結果も確認でき、検査値を読んで処方監査に役立てています。

また、予約状況も表示されるのが良い点で、来院日の血液検査の結果を予め見たと時に話が進めやすくなり助かります。検査結果の紙を持参される方もおられますが、それは一回分の結果であり、良くなっているのかどうか、経過がみれないと患者さんに適切なコメントはできません。時系列に結果が見れるからこそ提案型の投薬に役立てられて便利です。数値の変化について思い当たる原因を伺い、食事指導に繋がられることもあり、検査結果についてあまり理解されないようなのであれば検査値から読み取れるこ

長崎市新地町
天本愛命堂調剤薬局

あまもと こういちろう
天本 耕一郎 先生

TEL. 095-822-3710 E-mail: ama1028@iwk.bbq.jp

●●あじさいネットの使い道●●

とお伝えすることもできます。薬局を営んでいく上で、正確な調剤と適切な服薬指導を行っていくことはもちろんですが、あじさいネットの利用に同意していただいた患者さんには、より満足していただいているのではないかと思います。情報を得るからにはしっかりと還元しようという気持ちで臨んでおり、薬に関しては任せてもらっています。時間があればできるだけお話をし、どの患者さんにも笑顔で帰っていただくことが当薬局のモットーです。

あじさいネットがあれば安心して医療を提供するための下準備ができます。平成二十五年度に厚生労働省の「薬物療法提供体制強化事業」に携わったことがきっかけで、検査値に応じて処方提案をすることがいかに大切であるかを学びました。あじさいネットから知り得た検査値を継続的に管理して処方提案を行うことで処方監査に活かし、照会などにより医師の皆様と情報を共有できればと考えています。

在宅のチーム医療においては患者情報を共有するためのあじさいネットが中心に位置し、基幹病院や在宅主治医、看護師、ケアマネジャー、薬剤師等が診療やケア情報を共有することで、患者さんは全幅の信頼をおいて自分の病気とスムーズに向き合えるのではないのでしょうか。その中で活発にそれぞれ専門的な立場からの提案や意見交換ができるようなシステムに発展していけば地域医療はより良いものになると思います。

薬剤師が腎機能情報により処方提案を行い、処方監査に活かしていることは、全国の



パソコンのデスクトップに設定されているのは、仲良く寄り添っているお子さんの写真。次女と三女は双子だそうです。お父さん譲りのにっこりスマイルで、とても可愛らしい三姉妹です。

中でも長崎は先進的であり、他の県から視察が来るぐらいです。ただ、他県にはあじさいネットがないため、継続かつ多様なデータの収集は難しいものと思われれます。長崎では一歩進んでレジメン確認等様々なデータを利用し、腎機能に限らず多様な疾患における情報を処方監査、照会に活かして更に薬剤師の職能が発揮できるものと考えております。あじさいネットは様々な使い道があるネットワークです。有効なツールであることを理解していただき、県下各地域の薬局へ更に広げていきたいと思っています。

●●言い訳はしない●●

「言い訳は最大の敵である」が私の座右の銘で、いつも頭に入れていきます。どんな事柄に対しても言い訳をしない、強い人間になりたいと思っています。

●●一緒に過ごす時間を大切に●●

休日には三人の娘たちと過ごす時間を大切にしています。近くの公園へ行くのも、ちょっとしたことでも出掛ける時にも、いつも皆一緒です。今はなかなか休みを合わせることができないのですが、いろんな所へ連れて行ってあげたいと思っています。

情報提供病院のご紹介

国立病院機構 嬉野医療センター 地域医療連携室



嬉野医療センターは平成25年10月に診療情報提供をスタートしました。
基本理念：「ひとり一人を大切に」



PROFILE

昭和56年 長崎大学医学部卒
平成25年 嬉野医療センター 院長就任

Message / 河部 庸次郎 院長

●● 地域の医療機関との
連携を深めるために ●●

当院は県境に位置しているため、佐賀のピカピカリンクと長崎のあじさいネット、二つのネットワークに参入し、情報を開示しています。あじさいネットは平成二十五年から運用を開始しました。長崎地区の診療所の先生は熱心な方ばかりで、登録された患者さんの情報をあじさいネットで得ながら一生懸命治療に取り組まれています。診療情報共有は医療機関との連携に大変役立つものですので、今後も両方のネットワークシステムを継続して運用していかうと考えています。

地域医療連携をより円滑に進めるためには、地域医療に関するパンフレットを配布したり、医療に携わる方々の学習の場として、脳卒中のカンファランスなど各診療科ごとの講演会や研修会を定期的に開催しています。また、医師会の先生方とは懇親会を通じて親交を深めています。

●● 情報を共有し
よりよい医療を提供する ●●

地域医療連携の手段としてICTを使った診療情報共有をするのであれば、究極的には地域の電子カルテができればよいのではないかと思っています。現在、院内での電子カルテの閲覧権限は、医師、看護師、他の医療スタッフで多少異なりますが、ここに地域の先生方も加わっていただいて情報を共有していくのです。地域の先生方のカルテも診れるようになれば紹介状も必要ありません。

また、当院では最新の放射線診断機器を配備し、地域の先生方にも有効に活用していただくために検査予約システムを設けています。院内のスタッフと同じように診療に役立たせることで、より深い連携にも繋げていけるかと思っています。これは患者さんにとっても大きなメリットです。

ただ、診療情報を知られたくないという患者さんもいらっしゃいますので、同意をもとにしながら個人情報取り扱いには十分気を付けなければいけません。個人情報問題は大きな壁ではありますが、乗り越えて患者さんのメリットとなるような診療情報は共有していく必要があると思います。運用をしっかりと確立させ、患者さんに安心して医療を提供できるようにICTを活用した地域医療連携がより発展していくことを期待しています。



右：河部庸次郎院長
左：田中成子様（地域医療連携室 副看護師長）

◆ 地域医療連携室スタッフより

あじさいネットで連携しているのは波佐見、彼杵、川棚、大村地区の医療機関です。施設数は少ないにもかかわらず患者登録件数は増え続けており、よく利用されているようです。当院から回復期や緩和ケアの患者さんを逆紹介する場合がありますし、糖尿病の患者さんも多いので、治療の継続に役立つ情報が共有できていると思います。

・サポーターベンダーに登録方法や不具合について何度か問い合わせをした際には、メールやMLで早急に解決していただきました。あじさいネットは対応体制やセキュリティがしっかりしており安心感があります。



HOGY®

一步先の手術室環境づくりをお手伝いします。

ホギメディカルでは、不織布・キット製品など感染対策製品および理想的な病院経営を総合的にサポートする手術管理システムをご提供しております。

国内最大級の生産・滅菌システムと全国25箇所の営業所ネットワークによって安定的な製品提供ならびにお客様サポートで「安心」をお届けしております。



株式会社 **ホギメディカル**

本社：東京都港区赤坂2-7-7 TEL:03-6229-1300 FAX:03-6229-1344



Empowered by Innovation **NEC**

見つめているのは、 人びとの暮らしです。

人びとが安全・安心で豊かに暮らせる社会のために、
私たちは先進的なICTで貢献します。

お問い合わせは、NEC(医療ソリューション事業部)へ
〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1(NEC本社ビル) TEL.03-3798-6756

<http://jpn.nec.com/>

ヘルスケアの未来を変えていく。

健康で安心な社会を創造していくというビジョンのもと、
より多くの人々にKAITEKIを届けてまいります。



株式会社 LSI メディエンス

臨床検査 / 健康診断サポート / 診断薬・機器 /
創薬支援 / 環境リスク評価 / 食の安全サポート / ドーピング検査

LSIメディエンスは、(株)三菱ケミカルホールディングスの事業会社である
(株)生命科学インスティテュート(Life Science Institute..Inc)のグループ企業です。

〒101-8517 東京都千代田区内神田一丁目13番4号 THE KAITEKI ビル

THE KAITEKI COMPANY
三菱ケミカルホールディングスグループ





「つなぐ医療」から、
「支える医療」へ。



shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

富士通は、
医療の未来をカタチにしていきます。

地域医療ネットワークの整備が進むなか、富士通は、地域と住民を「支える医療」にいち早く着手。災害時の事業継続、ビッグデータによる個別化医療、創薬の加速化をサポートします。

HumanBridge EHRソリューション

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン(総合窓口) 0120-933-200

(受付時間 9:00~17:30 土・日・祝日・年末年始を除く)

<http://jp.fujitsu.com/solutions/medical/products/humanbridge/>



安心と安全を届けます

NTT DATA

Global IT Innovator

医療機関

無床診療所から大規模病院までの
医事会計システム・電子カルテ
など

福祉施設

小規模事業所～大規模施設
地域包括支援センター
など

調剤薬局

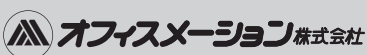
私たちは
地域医療
ネットワーク
に貢献します



オフィスメーション株式会社は
富士通パートナーです。

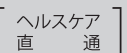


『あじさいネット』に
協賛しています。



長崎市金屋町2-6 電腦BLD.
<http://www.nagasaki-om.co.jp>

お問い合わせ 095-895-8188





あじさいネットからのお知らせ

iPadでもあじさいネットが利用できます。

8月より
開始!

在宅医療での情報共有および周産期医療支援システムで先行運用していた【iPadでのあじさいネット利用】を、今年8月より一般会員の皆様もご利用いただけるようになりました。

詳細は今号の特集記事(P.5)をご覧ください。



広報誌バックナンバーが、ホームページから手軽に読めるようになります。

10月20日
より開始!!

本誌「あじさいネット OFF LINE 通信」のバックナンバーが、10月20日よりあじさいネットホームページ上でいつでも閲覧できるようになります。読んだことのない方、もう一度読みたいけれど手元にないという方は、ぜひご覧ください。

メニューボタン「メディア・活動情報」から「あじさいネット広報誌」にて見ることができます。また、トップページに設置のバナーからも入れますのでご活用ください。

※ ホームページ上での公開は直近の4号(1年分)を除外させていただき、1年以上経過したもののみ公開とさせていただきます。予めご了承下さい。



あじさいネットのご案内・各種書類ダウンロードはホームページをご覧ください。

<http://www.ajisai-net.org/>

入会申込・各種お問い合わせ先

あじさいネット事務局(長崎県医師会事務局内)
TEL.095-844-1111 FAX.095-844-1110

編集後記

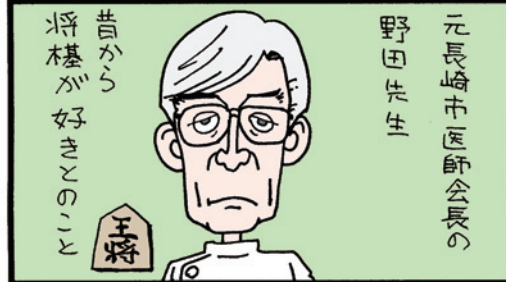
最近の長崎県医師会にて開催されている研修会や講演会はTV会議を使って県内各地都市医師会の会館で受講できるようになったのをご存知でしょうか? 平成24年より始まったこのTV会議はあじさいネットの暗号化回線を利用しており、正式名称は「Ajisai-net Medical Education & Communication」、通称AMECと呼んでおります。長崎県医師会をキーステーション(発信元)として県内全都市医師会への中継が可能のため、サテライト会場を使った参加者が年々増えています。平成26年度の参加者は年間2,386名、月平均で198.9名が参加されており、本年度は月平均300名を超えています。現在、長崎県医師会と長崎大学病院だけが発信元ですが、各都市医師会と情報提供病院がキーステーションとしての利用が可能です。今後はキーステーションを増やすとともに中継内容の種類を追加予定です。最終的には単発の講演・研修会等に加え、定期開催の研修会・勉強会・多施設間カンファランス等の利用へと広げ、数多くの職種の皆様が利用できるよう準備していくことで、最寄の地で最新医療の学習ができる機会が増えていくことに期待しております。これによって、あじさいネットの目的である「地域医療の質向上」に貢献できるものと思います。なお、AMECはあじさいネットポータルからの利用が可能です。つまり、会員の皆様はあじさいネット端末でも利用できるのです。現在のところ利用できるケースは限られていますが、これも徐々に増やしていく予定です。あじさいネットMLにて案内いたしますので、機会があればご利用ください。

あじさいネット OFF LINE 通信 編集長 松本 武浩

*ご感想は、あじさいネット事務局「aj-na@nagasaki.med.or.jp」までお願いいたします。

あじさいな人々

たくま かずひこ



◆ 漫画制作: たくま医院 院長 詫摩和彦先生 (長崎県医師会所属/長崎在宅 Dr. ネット理事)